

## 久留米市美術館開館記念

### 2016 ふたたび久留米からはじまる。九州洋画

日本近代洋画の歴史は、九州人が担ってきたと言っても過言ではないほど、九州は多くの洋画家たちを輩出してきました。明治期に限っても、草創期の東京美術学校で教鞭をとった黒田清輝と藤島武二、その後継者として岡田三郎助と和田英作らの名前をあげることができ、その後も青木繁、坂本繁二郎、児島善三郎、海老原喜之助、というように脈々と洋画の人脈は受け継がれていきます。

本展では、九州に生まれた、あるいは九州にゆかりのある 65 名の洋画家たちの作品約 110 点によって、現代に受けつがれる洋画の流れをたどるとともに、九州の豊かな文化力と魅力を伝えたいと思います。また、久留米に着目すれば、青木や坂本の他にも、吉田博、高島野十郎、古賀春江など才能豊かな画家たちを生み出しています。いかにこの地が日本の洋画史に大きな足跡をのこしてきたか、再認識することができるでしょう。

展覧会名	2016 ふたたび久留米からはじまる。九州洋画
会期	2016年11月19日(土)～2017年1月22日(日)
作品数	約110点
会場	久留米市美術館(本館2階)
主催	久留米市美術館
特別助成	公益財団法人石橋財団
後援	久留米市教育委員会、毎日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、NHK福岡放送局、九州朝日放送、RKB毎日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送
入場料	一般1,000円(800円) シニア700円(500円) 大高生500円(400円) 中学生以下無料 ※( )内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上、前売りあり。
開館時間	10:00-17:00(入館は16:30まで)
交通案内	JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分(快速で40分)福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関するお問い合わせ	久留米市美術館(公益財団法人久留米文化振興会) 展覧会担当: 森山秀子/稲富景子 広報担当: 森智志 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015(石橋文化センター内) TEL0942-39-1131/ FAX0942-39-3134

## 展覧会の構成とみどころ

### 第1章 美しき九州

猛々しく黒煙を噴き出す桜島、筑紫次郎の名を持つ筑後川。画家にとって九州の雄大な自然は魅力的な題材でした。久留米の風景をはじめ、九州各地の美しい景色をご紹介します。



青木繁《月下滞船図》  
石橋財団ブリヂストン美術館蔵



坂本繁二郎《放水路の雲》  
久留米市美術館蔵



古賀春江《風景》  
個人蔵

### 第2章 トップランナー

各県で最も早く洋画を学んだ画家たちを取りあげます。洋画の始まりが近代化の歩みと連動している点など、当時の社会背景とともにご覧ください。



彭城貞徳《和洋合奏の図》  
長崎県美術館蔵



床次正精《西郷肖像》  
鹿児島市立美術館蔵

### 第3章 九州洋画めぐり

各県ごとに洋画の歴史をたどります。同一出身県で展示することにより影響関係や交友の様子、県民性などを見ることができます。



瑛九《ブーケ(花束)》  
宮崎県立美術館蔵



和田三造《南風》  
東京国立近代美術館蔵



岡田三郎助《裸婦》  
佐賀県立美術館蔵

## 第4章 九州人

東京や海外に拠点を持つ画家が増える一方、中央から距離を置き、郷里九州で制作を行う画家たちがいました。彼らが九州に留まった意図や中央への意識など、地方画家としての意識に迫ります。



坂本善三《作品 82》  
坂本善三美術館蔵



宇治山哲平《王朝（絵画 No.358）》  
大分県立美術館蔵



坂本繁二郎《放牧三馬》  
石橋財団ブリヂストン美術館蔵

## ○関連事業

座談会「九州洋画談義」

展覧会で作品を借用する九州各県の7つの美術館（鹿児島市立美術館、宮崎県立美術館、大分県立美術館、福岡県立美術館、佐賀県立美術館、長崎県美術館、熊本県立美術館）から、館代表の学芸員に来ていただき、座談会を開催します。この方たちには、図録のコラム執筆もお願いしています。2016年12月10日、2017年1月14日の2回開催。

「九州ご当地ワークショップ」

① 長崎編・コラージュでオリジナル凧をつくろう

② 福岡編・博多張子に絵付けしよう

日時：①1月7日（土） ②1月8日（日）、11:00-12:30 / 14:00-15:30

ギャラリートーク

日時：毎週土曜日（12/10、1/14 をのぞく）、日曜日 14:00-14:20

同時開催展覧会（本館1階）

展覧会名 「九州をあそぼう ダンボールアート遊園地 in くるめ」

会場・会期 2016年11月19日（土）～2017年1月22日（日）

入場料 3歳以上500円

※2階展示との相互割引あり

## 久留米市美術館開館記念

### 「2016 ふたたび久留米からはじまる。九州洋画」 のスペシャルナビゲーターに久留米出身の女優・吉田羊さん

久留米出身の女優で、テレビや映画で大活躍中の吉田羊さんが、このたび久留米市美術館として初の展覧会となる「2016 ふたたび久留米からはじまる。九州洋画」のスペシャルナビゲーター（音声ガイド）として、来館者の皆さんをご案内します。

吉田さんは、美術館や博物館における音声ガイドには初挑戦で、芸能界の各方面で多忙を極める中、今回、郷里・久留米のためにと、快く引き受けていただきました。

ご本人も、今から新しい美術館と展覧会が楽しみと期待を寄せています。



#### 【吉田 羊さんのコメント】

子どもの頃から馴染んだ石橋文化センターと石橋美術館。

私も何度もこの地を訪れ、美術館の素晴らしい作品に触れてきました。

このたび石橋美術館が久留米市美術館となり、新たな船出となることを伺いました。久留米に生まれ育った私が大切な故郷と大切な場所のために、何かお手伝いできればと思い、今回、音声ガイドを務めさせていただきます。

おかげさまで、最近は忙しく、なかなか久留米に帰る機会も少なくなりましたが、私自身も新しい美術館と展覧会がとても楽しみで、この展覧会が開催されているうちには、また必ず足を運びたいと思っています。

これからも石橋文化センターと久留米市美術館が、私も含め、市民の皆さまの心の癒しと憩いの場所であり続けることを願っています。

### 作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
6. 掲載見本を必ず1部お送りください。